

# 令和3年度 天子田デイサービスセンター事業報告

【施設種別】介護保険法による通所介護・予防専門型通所サービス【1日利用定員】25名

令和3年度は、カラオケ＝口腔器機能向上、外出＝脚力維持向上、手芸＝手先の運動等、レクリエーションの目的をより一層明確に、天子田デイサービスの特色として打ち立ててきた。コロナ禍で、送迎車内での密を避ける為に季節に応じた外出は見送り、買い物は感染症対策をした上でわずかな人数での実施、ほとんどが換気を徹底した室内でのレクリエーションや機能訓練が中心となった。

そのような中で、5月からは個別機能訓練加算と運動器機能向上加算の算定を開始し、その効果は半年ほどで顕著に表れてきた。また参加されていない利用者にもゲームや体操等で積極的に体を動かす時間を提供してきた。令和4年2月からは口腔機能向上加算の算定を開始し、食前食後に口腔内の清潔保持と誤嚥性肺炎の予防にも努めている。認知症加算については、対象者の割合が加算割合に満たなくなったことから、令和4年度より取り下げることとなった。

加算を算定するための取り組みは、事業所の収益が上がるばかりではなく、利用者自身が効果を実感している姿が職員のモチベーションアップに繋がり、更に家族やケアマネジャーや各事業所とのやり取りの過程で信頼の獲得に繋がったと思われる。その結果、1日平均の利用人数が14.9名から18.5名と大きく実績を伸ばすこととなり、コロナ禍で休業日があったにも関わらず、前年度より1,200万円もの増収となった。

## 1 基本方針

当施設にあっては、「自分らしくをいつまでも」をスローガンに、法人内の在宅支援サービス部門と協力して利用者が「生涯現役」の生活をおくれるよう、家族・ケアマネジャー・地域・ボランティア等と一体となった援助を行うものである。

## 2 介護度の維持・改善とアクティビティ活動の促進

介護保険のサービスの基本は、「利用者本位」のサービスであり、「自立支援」にある。そのためにケアマネとの連携を図り、利用者課題を把握した上で、介護度の維持・改善を目的としたケアプランに基づいたサービス計画書を作成し、個々のニーズや能力に合わせたリハビリや、入浴や昼食後に余暇を有意義に過ごしていただくためのアクティビティ活動を提供した。（詳細は18（一日のサービス実施内容）を参照）

## 3 事故防止対策の取り組み

事故報告とヒヤリハット報告を毎月の職員会議の議題で取り上げ検証を行い、周知・徹底を図ることが大きな事故を未然に防ぐ事に繋がるという認識を職員が持ち、事故防止に取り組んだ。また事故発生時には、「事故・苦情マニュアル」に基づき迅速に対応するよう努めた。

#### 4 ユーザー評価及び情報開示の実施

施設経営には、基本的理念、経営方針はもとより、利用者の権利擁護、人権の尊重といった根源的な理念を踏まえた民主的で健全な事業経営が求められている。ユーザー評価及び情報開示の実施により、利用者、家族の「安心」と「信頼」を得られるよう、サービスチェックを行い、問題の洗い直しと改善目標を設定し、サービスの向上に努めた。

#### 5 個人情報の保護

日常的に利用者・家族の個人情報を多く取り扱っており、いったん取り扱いを誤ると、利用者・家族に被害を及ぼすおそれがあるため、全職員に対して個人情報の管理と適切な取り扱いについての周知徹底を図った。

#### 6 相談・苦情

利用者・家族からの率直な意見を適切に収集し、真摯に受け止めるために「相談（苦情）受付表」と「できごと報告書」を活用し、利用者懇談会を設け、利用者・家族の苦情・意見・要望に対して、出来る限りの改善に努めた。

また日頃から何気なく交わされる会話の中で利用者・家族の悩みや不満を察知し、話をする機会を設けるなど、早めに問題解決を図った。ケアマネジャーからの相談・苦情についても円滑、迅速に対応した。

#### 7 介護保険外サービス

今年度は、要支援者実費利用者は1名、外部美容師による理容はひと月に6～8名の方が利用され、在宅生活を支える一助となった。

#### 8 障がい者の利用受け入れ（生活支援の基準該当サービス）

送迎・食事・入浴・レクリエーションを提供することで、生活リハビリに繋がるようなサポートを行っている。障がい者福祉サービスでは安心安全な入浴サービスの提供できる場が限られ、高齢者通所介護施設での入浴サービスを目的に利用開始となった。

#### 9 設備・備品の改善

・送迎車（福祉車両）購入 ・給湯器交換 ・排水管工事 ・リハビリ器具の購入

#### 10 職員の配置状況

（令和4年3月31日現在）

	管理者	生活相談員	看護師	介護士	計	実人数
常勤専従	—	—	—	0	0	0
常勤兼務	1	5	—	4	10	5
非常勤専従	—	—	—	1	1	1
非常勤兼務	—	2	4	6	12	6
計	1	7	4	11	23	12

## 11 職員の研修状況

4月	・介護福祉士実務者研修 ・認知症及び認知症ケアに関する研修	外部研修 内部研修
5月	・介護福祉士実務者研修	外部研修
6月	・介護福祉士実務者研修 ・援助の基本原則についての研修（バイステックの7原則）	外部研修 内部研修
7月	・介護福祉士実務者研修 ・感染症及び食中毒の発生の予防及び蔓延の防止に関する研修	外部研修 内部研修
8月	・介護福祉士実務者研修 ・プライバシー（個人情報）保護についての研修	外部研修 内部研修
9月	・身体拘束等の排除、虐待防止に関する研修	内部研修
10月	・非常災害時の対応に関する研修	内部研修
11月	・サービスに関する情報の共有について	内部研修
12月	・事故の発生予防又はその再発防止に関する研修	内部研修
1月	・ケアマネジャーに選ばれるデイサービス運営について	内部研修
3月	・事故の発生等緊急時の対応、送迎時の事故に関する研修	内部研修

## 12 職員の安全衛生・メンタルヘルスの取り組み

ストレスチェックや安全衛生の取り組み（交通安全危険予知・腰痛予防・感染症対策など）を行い、身体的・精神的負荷の軽減を図り、より良い職場環境と心身の健康を保持し、良質な介護サービスが提供できるよう努めた。

## 13 利用の状況

（令和4年3月31日現在）

	実施 日数 (日)	登録者数(人)			延利用者数(人)				3年度 1日平均 利用人数	3年度 (稼働率)	2年度 1日平均 利用人数	2年度 (稼働率)
		総合 事業	通所 介護	基準 該当	総合 事業	通所 介護	基準 該当	利用者 数合計				
4月	26	11	35	1	81	366	4	451	17.3	69.38%	14.4	57.4%
5月	26	12	35	1	81	376	5	462	17.7	71.08%	15.3	61.3%
6月	26	10	37	1	79	352	4	435	16.7	66.92%	15.6	62.4%
7月	27	9	39	1	72	389	4	465	17.2	68.89%	16.9	67.6%
8月	26	11	40	1	82	416	5	503	19.3	77.69%	16.4	65.6%
9月	26	10	42	2	80	404	7	491	18.8	75.69%	14.8	59.4%
10月	26	11	38	2	85	420	6	511	19.6	78.62%	14.7	58.8%
11月	26	13	37	1	88	407	3	498	19.1	76.62%	13.8	55.1%
12月	26	14	38	1	94	423	4	521	20.0	80.15%	14.8	59.4%
1月	25	14	40	1	78	363	5	446	17.8	71.36%	13.6	54.6%
2月	24	14	38	1	70	376	4	450	18.7	75.00%	14.4	57.6%
3月	19	14	40	1	61	305	2	366	19.3	77.47%	14.2	56.8%
計	303	143	459	14	951	4219	53	5599	—	—	—	—
平均	25.2	11.9	38.3	1.1	79.3	351.6	4.4	466.6	18.5	74.07%	14.9	59.7%

## 14 利用者の要介護度の状況

(令和4年3月31日現在)

登録現員	事業対象	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	平均介護度
54人	1人	5人	10人	16人	9人	10人	3人	0人	2.0
100%	2%	10%	18%	30%	16%	18%	6%	0%	
2年度	0%	4%	25%	31%	22%	7%	11%	0%	1.97

## 15 利用者のADLの状況

(令和4年3月31日現在)

ADL		男性	女性	計	割合
歩 行	全 介 助	3人	5人	8人	15%
	一部介助	2人	5人	7人	14%
	自 立	5人	32人	37人	71%
食 事	全 介 助	2人	0人	2人	4%
	一部介助	0人	1人	1人	2%
	自 立	8人	41人	49人	94%
入 浴	全 介 助	3人	7人	10人	19%
	一部介助	4人	11人	15人	29%
	自 立	3人	24人	27人	52%
着脱衣	全 介 助	3人	4人	7人	14%
	一部介助	2人	8人	10人	19%
	自 立	5人	30人	35人	67%
排 泄	全 介 助	2人	3人	5人	10%
	一部介助	2人	2人	4人	8%
	自 立	6人	37人	43人	82%
認 知 症		6人	22人	28人	54%

※障がい者含まず

## 16 年齢別の状況

(令和4年3月31日現在)

	男性	女性	計	割合
60歳～64歳	0人	0人	0人	0%
65歳～69歳	2人	1人	3人	5.5%
70歳～74歳	1人	1人	2人	3.7%
75歳～79歳	2人	8人	10人	18.6%
80歳～84歳	1人	8人	9人	16.6%
85歳～89歳	4人	14人	18人	33.3%
90歳～94歳	0人	10人	10人	18.6%
95歳～99歳	1人	1人	2人	3.7%
100歳以上	0人	0人	0人	0%
計	11人	43人	54人	100%
平均年齢	82.6歳	86.7歳	85.9歳	—

※障がい者含まず

## 17 区別登録者の状況

(令和4年3月31日現在)

	守山区	千種区	名東区	尾張旭市	計
男性	11人	0人	0人	0人	11人
女性	41人	0人	0人	2人	43人
計	52人	0人	0人	2人	54人

## 18 一日のサービス実施内容

身体機能の維持・向上を図り転倒予防に努める、脳の活性化を図り認知症の進行を予防する、気分転換を図り精神的安定を図ることを目的として、新型コロナウイルス感染対策を行った上で、実施可能な限られたメニューから、利用者自らが主体的に選択することを重点に置いて取り組んだ。

	午前のメニュー	午後のメニュー	その他のメニュー
手指 認知 創作 精神安定	入浴 計算問題・国語問題・ 記憶力問題 カレンダー作成 間違い探し・針仕事・ 折り紙・塗り絵・オセロ 将棋・パズル・編み物 習字・ちねり絵 トランプ・貼り絵	壁飾り作り・ちぎり絵・ オーナメント作り・習字・ カラオケ・針仕事・回想 法・オセロ・将棋・折り紙・ 編み物・ハンドベル・ 各種工作・写経	季節ごとの行事
運動	健康チェック 全体体操	外出・体感ゲーム・輪投げ カローリング・ボーリング テーブルホッケー・散歩 ラジオ体操 季節ごとのゲーム 体操クラブ 体力測定（効果測定）	準備体操・整理体操 ※個別機能訓練 足上げ歩行・蟹歩行 上半身ストレッチ ウォーキングマシン ペダル漕ぎ・平行棒 ゴムバンド運動
口腔	歌・嚙下体操	カラオケ・会話・談話	発声訓練・口腔ケア
栄養	水分摂取・体重測定	食事・おやつ	